

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を運営する株式会社バンク(須永珠代表取締役)と、群馬県前橋市(山本龍市長)、岩手県北上市(高橋敏彦市長)は18日、福祉施設やNPO法人を支援するため、思いやり型返礼品プロジェクト「きふと」(<https://www.furusato-tax.jp/jp/>)を立ち上げた。

思いやり型返礼品とは、自分のためでなく、誰かの役に立つ返礼品。寄付を通じて故郷を応援

ふるさと納税

障害者製品を返礼品に

新プロジェクト 前橋市など立ち上げ

するとういう本来の趣旨に 人名でランドセルが寄付され、全国に広がったこと着想を得て、2017年10月から思いやり型返礼品を始めたこと。現在、福祉施設の製品を返礼品にしたり、市内の児童相談所に漫画「タイガーマスク」の主人公のイラストを入れたりしている。「きふと」が取り扱う「協賛型」、高齢者のための雪かきを手伝うなど体験イベントをする「参加型」がある。18日に同サイト内に特設ページを開き、募集を始めており、19年度末までに100自治体の参加を目指す。同日の会見で、山本龍市長は「寄付によって社会を支えるという善意を全国で共有したい」、須永代表取締役は「ふるさと納税は過渡期にある、制度本来の趣旨に基づいた自治体の取り組みを支援したい」と語った。

への寄付増を目指す。 「きふと」立ち上げのきっかけは、前橋市が市内の児童相談所に漫画「タイガーマスク」の主人公のイラストを入れたりしている。「きふと」が取り扱う「協賛型」、高齢者のための雪かきを手伝うなど体験イベントをする「参加型」がある。18日に同サイト内に特設ページを開き、募集を始めており、19年度末までに100自治体の参加を目指す。同日の会見で、山本龍市長は「寄付によって社会を支えるという善意を全国で共有したい」、須永代表取締役は「ふるさと納税は過渡期にある、制度本来の趣旨に基づいた自治体の取り組みを支援したい」と語った。

(井口拓治)